

社協だより12月号【Vol.92】

元気がわら版

●発行日:平成24年12月20日

●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号

●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp



平成24年度 社協のつどい

～ つながってるよ!!

地域の輪・みんなの笑顔

お互いが気にかけて、共に安心して暮らし続ける地域づくりには、人と人のつながりが大切になってきます。

今回の社協のつどいは、地域のつながりをテーマに、多くの関係者の方々の力、そして笑顔がつながり合う場として計画し、開催しました。

●目次

- P1…社協のつどい・目次
- P2…役員改選(会長就任挨拶)
- P3…理事会・評議員会
- P4…社協のつどい
- P5…社協のつどい
- P6…社協のつどい・よろず相談・協力寄付金・義援金
- P7…庄原報告・西城報告・東城報告・口和報告
- P8…高野報告・比和報告・総領報告・里山の工業知コーナー(西城)
- P9…寄付金
- P10…地域のものがたり(比和)・広告・ボラ募集

任期満了に伴う役員改選

新体制で「福祉のまちづくり」を進めます。

社会福祉法により全国全ての市区町村に設置されている社会福祉協議会では、定款の定めにより役員任期は二年間となっております。この度、任期満了に伴う役員改選並びに会長、副会長の互選を行いました(第五期)。

この改選にあたっては理事一名、監事一名の交替があり、その他の役員については留任となりました。また、会長も互選において再任が決定されましたが、副会長については一名の交替がありました。併せて任期満了に伴う評議員の改選も行なっております。

このたびの改選を受け新体制のもと、行政、自治振興区、福祉関係諸団体等との連携のもと、住民参加による福祉のまちづくりを進めてまいります。

どのような地域社会をめざすのか！

庄原市社会福祉協議会 会長 山内 文雄



戦後の近代化、産業化の中で、私たちの周りには「モ

ノ」が増え、物質的には豊かになりました。しかし今の世の中、何かイライラ感があり、不安な日々を送っているようにも思えます。そして近年、都市部を中心に、「孤独死」など何かおかしいと思われる出来事が頻発しています。

今、私たちは、「便利さ、豊かさ＝幸せ」ではないことによく気が付き始めているのではないのでしょうか。やはり、家族の絆、地域の絆を大切にしたい。「人つながりのある心豊かな社会」をめざしていく必要があると思います。

私たちの庄原はどうでしょうか。

まだまだ都市部に比べて隣近所が気にかかっている関係が生きています。しかし過疎化と少子化が急激に進んで「人つながり」も薄れつつあり、中でも高齢者の一人暮らしが増え、日々の見守りや通院、買物の交通手段の確保など様々な地域課題が生じています。

このようなかで社協では、三年前から「おたがいさまネット事業」をスタートさせ、地域の助け合いの仕組みづくりに取り組んでいきます。この事業は、自治振興区を核にして民生委員、老人クラブ、女性会など地域団体の皆さんが連携して、ひとり暮らしの高齢者など、支援を必要とする人々を地域で支え

る仕組みづくりです。そしてこのような仕組みが、これからすべての地域に広がっていくことを期待しています。私たちがこれからも住み慣れた地域で元気に暮らしていくためには、家族の絆を基本として地域の助け合い、支えあいの仕組みづくりが不可欠です。そして庄原の未来を背負っていく子どもたちが「この地に住みたい」と言ってくれる「誇れるまち」をつくること、それが私たちの責務だと思っています。

社協はこのような福祉のまちづくりのために、将来の家族の姿、地域の姿を描きながら一人一人が今何をすべきかを市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

第5期 役員・評議員の紹介

()内は選出域

【理事】

〈任期〉平成24年11月21日～平成26年11月20日

会長 山内 文雄 (庄原)
副会長 竹島 靖明 (西城)
副会長 田邊 恒治 (東城)
副会長 秋山 義治 (総領)
永井 忠司 (全域)
住田 鉄也 (全域)
森田 一宜 (全域)
佐藤 浩子 (庄原)
八谷 文策 (庄原)
伊ノ木 健治 (東城)
原 四朗 (口和)
井上 清憲 (高野)
奥田 順紀 (比和)

【監事】

〈任期〉平成24年11月21日～平成26年11月20日

松村 修治 (庄原)
山本 伸昭 (西城)
地子 給高司 (東城)

【評議員】

〈任期〉平成24年12月21日～平成26年12月20日

勢村 生美 (全域)
中森 誠 (全域)
藤田 和弘 (全域)
竹本 健三 (庄原)
宮本 英暉 (庄原)
増田 省三 (庄原)
植木 登夫 (庄原)
東 登美夫 (庄原)
東 泰治 (庄原)
菟原 元樹 (庄原)
糸谷 和恵 (庄原)
紙川 光志 (西城)
織田 みね子 (西城)
比原 一夫 (西城)
村上 聖子 (東城)
赤木 壽子 (東城)
中島 好昭 (東城)
高柴 和哲 (東城)
若林 元美 (東城)
三上 喜啓 (口和)
栗田 正暁 (口和)
加藤 寛 (高野)
草谷 末廣 (高野)
畑谷 美秀 (比和)
富田 ひろ子 (比和)
横山 和則 (総領)
藤野 富美代 (総領)

平成24年度における理事会、評議員会の動き

【理事会】

第1回(5月24日開催)

・議案第1号 平成23年度事業報告・決算

・議案第2号 諸規程の一部改正

第2回(7月12日開催)

・議案第3号 補正予算(地域福祉関係1事業)

第3回(9月28日開催)

・議案第4号 補正予算(地域福祉、法人運営関係5事業)

・議案第5号 諸規程の一部改正

第4回(11月15日開催)

・議案第6号 平成24年度中間事業報告・決算

第5回(11月21日開催)

・議案第7号 補正予算(特別会計関係1事業)

・議案第8号 会長、副会長の互選

・議案第9号 任期満了に伴う評議員の選任



議案審議をはじめ福祉課題について意見交換を行います

【評議員会】

第1回(5月28日開催)

・議案第1号 平成23年度事業報告・決算

・議案第2号 諸規程の一部改正

第2回(11月19日開催)

・議案第3号 補正予算(地域福祉、法人運営関係等7事業)

・議案第4号 平成24年度中間事業報告・決算

・議案第5号 任期満了に伴う理事、監事の選任

・議案第6号 諸規程の一部改正

理事会

事業計画、予算、諸規程等の改廃、そのほか執行者として社協の経営を行う執行機関です。

監事会

法人運営や事業が正しく実施されているか、予算や財産が正しく管理執行されているかを監査する機関です。

評議員会

事業計画、予算、諸規程、そのほか理事会から提案のあった議案を審議決定する議決機関です。

補正予算が承認された主な地域福祉事業

1. おたがいさまネット事業(安心生活創造事業) 総事業費 9,500千円(委託額9,500千円)



10月12日に開催した報告会の様子

平成21年度から3年間実施した国のモデル事業(国庫:庄原市委託事業)が、一定の評価を受ける中で、平成25年度まで2年間の事業継続が認められました。この事業は、地域の中で高齢者等を見守り、支え合う仕組みづくりを進めるもので、自治振興区を中心に住民、福祉・医療関係者等が連携した取り組みです。現在までに市内の12自治振興区で取り組みを進めており、市内のすべての自治振興区での取り組みを目標としています。

2. もっとまるごと福祉共育創造事業 総事業費 330千円(助成額300千円)

広島県社会福祉協議会が進める3年間の助成事業。地域組織等が主体となり福祉教育活動を地域全体の取り組みとして進めるもので、日常的な世代間交流をすすめながら、地域にある課題を大人と子どもが共に考え、その解決に向け協働して取り組む活動です。話し相手、見守り、ゴミ出し、軽易な作業など、地域にある身近な生活課題を共に考えます。

3. 小地域お茶の間づくり事業 総事業費 900千円(助成額450千円)



ゆうゆう行里サロンの開所式の様子

広島県社会福祉協議会が進める助成事業。地域の中にある身近な生活課題を常設サロンを拠点として情報共有し、地域の中で解決する仕組みづくりを進めます。常設サロンにはコーディネーターを配置。地域住民が気軽に集う活動をとあして日常生活の中にある困りごと等をキャッチし、ご近所による支え合い活動へ繋げると共に、行政や関係機関等への橋渡しの役割も担います。本年度、3ヶ所の立ち上げを進めています。

平成24年度 社協のつどい

市内高等学校・各関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



西城紫水高等学校神楽同好会による“八重垣の能『大蛇退治』”の演舞です。昔から伝承されている神楽を地域の方が次世代の若者達へつなく、これからも代々受け継がれる地域の宝です。気かけ合いや支えあいの原点を感じる見事な演舞でした。



庄原実業高等学校は、ハンドマッサージコーナー、リハビリグッズ体験コーナー、バリアフリーマップの展示・配布、点字歌詞集や認知症サポーターの展示を行いました。



東城高等学校は、点字カレンダーを作成されており、今までに作成された作品と作業工程を展示されました。



庄原格致高等学校写真部は、ふるさと庄原や笑顔をテーマにした写真の展示と会場内を隈無く歩き、参加者のたくさんのステキな笑顔を撮影してくださいました。



平成24年度 社協のつどい

市内各地の作業所・福祉施設の皆様、各団体の皆様、ボランティアさん、ご協力ありがとうございました。



★障害者支援施設ともいきの里さん



★ユニバーサルケアみとう温泉さん



★東寿園福祉作業所さん



★庄原さくら学園さん



★かわせみの家さん



★庄原共同作業所さん



★共同作業所ゆめのいえさん



★オレンジアドバイザー連絡会さん



★庄原の小児医療を考えるひだまりの会さん



★生きがい創造型サロンの皆さん



★手話サークルしょうとんどさん



★音響ボランティアさん

当日は、あいにくの天候でしたが、多くの皆様のご協力のおかげで、盛大に開催する事ができました。
 今年は新たに庄原市内の高等学校、団体のご協力をいただき、幅広い世代の交流の場となりました。また、日頃の取組みや活動の発表の場として、多くのつながりも生まれました。
 職員一同心よりお礼をもうしあげます。ありがとうございました。



よろず相談の ご案内

◎一般相談 (13:30~15:30)

毎週水曜日 庄原地域センター
第1・第3木曜日 西城地域センター
東城地域センター
比和地域センター
第2・第4木曜日 口和地域センター
第1・第3水曜日 高野地域センター
第2・第4水曜日 総領地域センター
(9:00~11:00)

◎法律相談

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
1月11日(金)・18日(金) (13:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

◎多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
毎月第2木曜日 (13:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

◎ブライダルサポートセンター(結婚相談)

毎週月曜日・第1日曜日 (14:00~16:00)
庄原市ふれあいセンター

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

平成24年度 社協のつどい

午後のステージ発表では、自治振興区と一緒に取り組んでいる“あたがいさまネット事業”を寸劇で紹介しました。

日頃からの近所のつながりは、“いざ”という時の声のかけあいや、気にかけて合いが、見守りにつながります。困りごとでも、地域で解決できることばかりではありません。解決をするために、どのような仕組みにすれば良いかを、寸劇をとおして参加者みんなで考えることができました。



寸劇の一場面。市民や関係者のみなさんにも出演協力いただきました。

庄原地域センター

0824-72-7120



気軽に寄って、話して行きんさい

毎月第1・3の火曜日の午前中、地域の皆さんが気軽に寄って話のできる憩いの場として、「ふれあいサロン北」がJA庄原北支店購買跡で始まりました。ここは、以前より北自治振興区がJA庄原北支店から借用され、地域の皆さんの拠り所として開放されていたところです。

「まあ、お茶でも飲んで行きんさい」。農協に来たついでに、児玉医院に行った帰りに…。サロンの前を通ると顔見知りの人に声をかけられます。

いろいろな人が集まりおしゃべりがはずおと、自然と笑い声や笑顔が生まれます。サロンが地域の皆さんの心つながる場となるよう、これからも皆さんと一緒に進めていきたいと思ひます。



西城地域センター

0824-82-2953



30本の杖

木工が得意で器用な高田さん。病院やデイサービスで歩きにくそうにされている人を見て、ふと、困った人が気軽に使ってもらえる杖が置いてあるといいだろうなあと思われました。これがきっかけとなり、自分の使っている杖を参考にしながら、自宅の作業場にあった角材を利用し、高田さん夫婦が一本一本丁寧に作成されました。

先日、社協に届けていただいた杖を、しあわせ館など数カ所に置かせていただきました。

高田さん夫婦の誰かの役に立てればという優しい気持ち。これからもお一人お一人の思いを大切に地域へつなげていきたいと感じました。



東城地域センター

08477-2-0488

和気あいあい 手話講習会

11月から東城ふれあいセンターを会場に手話講習会を開催しています。「どうだったかな～」「こうよ」「そうよそうよ」とお互いの指使いを確かめ合いながら和気あいあいと進めています。手話は、言語や聴覚に障がいがある方とのコミュニケーションをとる方法のひとつです。多くの皆さんに知っていただきたいと思ひます。来年2月22日までの毎週金曜日(13:30～15:30)14回行います。どなたでも参加できる手話講座です。

これまで未体験であった手話通訳の実践にも、今年は取り組むことが出来ました。もっといろいろな場面で通訳が出来ればと思ひます。

★「手話講習会」は、庄原市からの委託事業として実施しています



口和地域センター

0824-89-2320



金田の魅力、再発見♪

『2012 金田ふれあいグラウンドゴルフ秋季大会・金田収穫祭』が開催されました。

「さすが、上手いわ!」「もうちょっと強かったら入ったわ!」と子ども達の優しい声援に、皆さん自然と力が入ります。

プレーの後は、お待ちかねの収穫祭。鍋や焼肉など、金田産のご馳走が並びました。

様々な年代の方が協力し合い、声を掛け合う姿に、金田の地域力を感じました。



高野地域センター

0824-86-3044

みんなに会いたいけえ、早う来月にならんかね〜。

平成23年度に、市の委託で実施した介護予防事業に参加されていた方が卒業され、「せっかく、仲良くなったのにこれで終わるのは寂しい」と言う声で始まった「にここサロン」。町内全域から福祉バスに乗り毎月1回、15名前後が集まりそれぞれが得意な分野で力を発揮されている、みんなが主役のサロンです。

雑談をしながら仲間を待ち、集まれば歌と体操で始まり、お互いが声を掛け合い、手を取り合い、頭や身体を使って楽しく賑やかに過ごされています。「一生懸命になり、時間が過ぎるのも忘れ楽しかった」。帰り際に聞こえる皆さんの声です。参加者は各地域から集まっておられるので情報交換の場になり、色んな話に花が咲いているようです。最初の声かけは社協がさせていただきましたが、あっという間に自分達のサロンになっていきました。各地域でも「サロンって何?」、「サロンをしたいけど…」等ありましたら声を掛けてください。

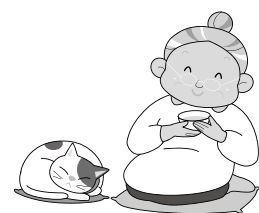


比和地域センター

0824-85-2300

いつまで我が家で暮らせますか?

長い間一人で暮らしておられるハナエ(仮名)さんが、近頃、物忘れが進んでいるのでは?という話を聞き、ハナエさん本人には聞けないので、周りの方に少しだけ話を聞いてみました。すると「会う時は、今日の調子はどんなか思うて、話かけてみるんじゃ」「何回も同じ事を言うても、初めて聞いたように、何回も聞いちゃうんよ」と、ハナエさんには気づかれないように、ご近所さん達が、見守りをされているようでした。「ご近所同士、何かがあっても、それを周りが受け入れるか、受け入れないか」によって、「歳を重ねても、自分自身が頑張れる地域」かどうかが変わってくるのかもしれない。



これから少しずつハナエさんに関わっていこうと思っています。「歳を重ねても、住み良い・住みたい地域」に近づけるよう、社協もお手伝いしていきたいと思っておりますので、地域のみなさんのご協力よろしくお願ひします。

総領地域センター

0824-88-2796

心も体も“ほっと”しませんか?

健康福祉センターには、週4日(月・火・木・金曜日)の9時30分~15時まで自由にコーヒーやお茶を飲みながらおしゃべりできる『ほっと停留所』があります。

診療所の診察を待つ人、バスを待つ人、話し相手を求めて来るご近所さんなど、思い思いに集まるとは、話に花が咲きます。「ここで飲むコーヒーは美味しいね。」「それはね、みんなとのふれあいがあるからよ!」。ここでお茶をしていた人たちの言葉です。たとえ短い時間でも集まった人の中には、必ず気配り目配りして下さる方がいて、まるで常設サロンのようです。



これからまだまだ寒くなると、出かける機会や人と話す機会が減ると思いますが、人恋しくなったら是非『ほっと停留所』へ寄ってみてください。

里山の工楽知コーナー 今櫛山伝説(いまぐしやまでんせつ)

“お話会ダンボ”で絵本の読み聞かせをされている増永さん。地域に伝わる昔話を子どもたちや地域の人へ、わかりやすく伝えていきたい。また、自分の地域を知ることでもっと好きになって欲しいとの思いから紙芝居を制作されました。図書館や小学校での読み聞かせや、サロンへ出張し、西城町大屋の今櫛山に伝わる昔話を多くの人へ伝えておられます。方言で語られる紙芝居からは、自分の地域を大切にしたいという思いが伝わってきました。

<あらすじ> 姫は思いを寄せる人がいる中、三河内の殿のもとへお嫁に行きます。その人のことを忘れられず今櫛山をこえる途中の休憩で、姫は池へ身を投げます。姫が居ないことに気づき、あたりを見渡すと池へ櫛が浮かんできて、「今、くしが…。」と姥がそれを見つけます…。



いくつ
何歳になっても
新たな出会いを!



比和町老人クラブ連合会
会長 岩倉 米男さん



3年前から比和町老人クラブの副会長をしていましたが、今年の7月から会長となり、分からないなりに周りに聞きながら役員会などをやってきました。副会長の時とは違い、会長になって感じたのは、「80年あまり比和ににいるのに、町内でも知らない方が多い」という事でした。特に、女性の方が分からず、名前を

聞いて初めて「あ～、〇〇さんの奥さんか～」と一致するような事でした。

そんな中、社協の「もっとまるごと福祉共育創造事業」で地域の子ども達を集め「そうめん流し」を企画され、自分も「歳で出来ることは限られるけど、役員でもあるので覗いてみよう」と事前の会議から参加したところ、たくさんの新たな出会いがありました。普段はあまり関わる事のない世代との交流は、自分を元気にしてくれたように思います。

この歳になって、新たな出会いを経験し思うことは、「やはり元気の秘訣は人との対話」ではないかという事です。様々な機会に、外に出てみる。色々な人たちとしゃべって、初めての出会いを楽しんでみる。それが長生きにつながるような気がしています。もちろん、「身体の健康」、「家族との関係を良好に保つ」、そして「少々のアルコール」というのが前提にはありますが、「歳を重ねても対話できる相手がたくさんいる」というのが、やはり秘訣だと思います。比和町の老人クラブも、地域や社協などの行事に参加・協力し、様々な出会いを作りながら、「人との対話」を生きがい対策にしていけたらと思っています。

広告



司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

一人で悩まないで
まず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士 検索

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 ハルナシュB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

学生の皆さんへ

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか。ご希望の方は、庄原市社会福祉協議会へご連絡ください。